

日本の展望2020(仮称)の方針について(案)

(10月3日及び10月25日幹事会懇談会から)

- 「日本の展望2010」を発展させたものというよりは、焦点を絞ったものとし、その場限りの課題や解決策ではなく、バックキャストできる新たなしっかりとした大きなシナリオ(展望(人間・社会))(2030年?の展望)を作成する。
- 科学者として未来を見通し、そこに科学者がどう貢献するのか、夢を含めた展望を記述する。
- 一方で、科学技術がもたらすもの、科学技術そのものに対する不安についても記述する。
- 今年度は、テーマを決めてコンテンツ作りを行う。
- 既存の関係の機能別委員会、部、課題別委員会の議論を、「日本の展望2020検討委員会(以下、「展望委員会」という。)」において取りまとめ、反映する。部の壁を乗り越えた融合した議論を行う。
- 展望委員会において、構想をまとめるために参考人をお呼びする。